





写真1 左:開会式の様子(山野市長からの挨拶)  
写真2 右:通学路パトロールの様子

(2)「金腐川の水生物観察会」〔2018年8月4日(土)、金沢市夕日寺地区牧大橋付近金腐川流域、活動内容:米田豊博士の指導による金腐川の源流確認、水質調査、水生生物の捕獲・観察



写真3 左:川の観察、水生生物の捕獲の様子  
写真4 右:川の水質調査の様子

(3)「里山を体験しよう!!」〔2018年10月7日(日)、夕日寺自然園、森のフェスタ(夕日寺自然園)との共催、活動内容:金澤伝燈寺里芋鍋、アメリカザリガニ駆除(釣り)、竹工作、三ノ坂歴史探訪

\*台風接近のため残念ながら中止した。

(4)「金沢伝燈寺里芋収穫及び閉講式」〔2018年11月10日(土)、夕日寺小学校及び東長江団地田圃、活動内容:金澤伝燈寺里芋の収穫体験、非常食体験、ジビエ料理試食、閉講式



写真5 左:金澤伝燈寺里芋の収穫活動  
写真6 右:金澤伝燈寺里芋を調理する学生たち

(5)「1300年協議会の連携活動」の取材(北陸放送「いいね金沢」)〔2018年12月6日(木)、東長江団地田圃、活動内容:夕日寺1300年協議会に関わる連携体制の取材



写真7 左:里芋圃場での生産者・組織役員・学生  
写真8 右:テレビ取材を受ける池田ゼミナール学生たち

### 3 成果、結果の考察

夕日寺地域での活動は、以前においては、野外スポーツ部やアウトドア・スポーツ・ラボ(ゼミナール)の自然体験活動や子どもたちへの体験活動サポートであったが、それらの継続実施に加え、地域側の地域連携の親密化、組織化、また、夕日寺地域の1300年の節目等によって、連携組織が拡大・発展し、「1300年」というスローガンによる地域住民の1本化により、加速度的に地域コミュニティづくりが推進され始めている。活動に参画している学生たちにとっても、地域の子どものたちや高齢者は勿論、行政の担当者等様々な方々との出会いがあり、地域の魅力や課題にも気付くことができる。特にアウトドア・スポーツ・ラボ(ゼミナール)の学生たちは、「いしかわエコデザイン賞」(2016年8月)や金沢市「協働のまちづくりチャレンジ事業」での公開プレゼンテーションでの発表、受賞・採択後の取り組み経験を通して深く学ぶことができおり、自分たちも関わりながら目の前で地域づくりが推進されて行く様子を実感できることは、大きな学びのチャンスであり、次世代を担う自己意識の向上にも繋がっていると考えられる。また、SDGs(「Sustainable Development Goals」)の視点からも、本活動の更なる継続発展実施が期待される。

### 4 今後の課題、展望

今回関わっている学生は、主に「野外教育」の視点から関わっており、地域の歴史保全や「金澤伝燈寺里芋」のブランディング強化に向けては、他学部、他大学等の他の専門性を有する学生たちとのコラボレーションも望まれる。